

# 皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30  
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭  
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内  
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



イマジン  
ロータリー

## IMAGINE ROTARY

第1618回例会 令和5年5月18日(木)

【会長の時間】

徳治 敬

皆さん、こんにちは。今日の話は「蚊と豚と日本脳炎ウイルス」という事で、日本のウイルスの話をしたと思います。出典は畑中さんです。図の方はその本にはなく、最近の記事の中から取ってきたものです。



ウイルスにはさまざまな種類があり、そのウイルスによってもたらされる病気もさまざまです。

日本には日本人にとって大変関係の深い日本脳炎という病気があります。(日本脳炎は法定伝染病の一つ。アカイエカ、コガタアカイエカによって媒介される。急に発熱し、高熱・頭痛・けいれんが続き、昏睡状態に陥る。死亡率が高く、知能障害などの後遺症が残る。)

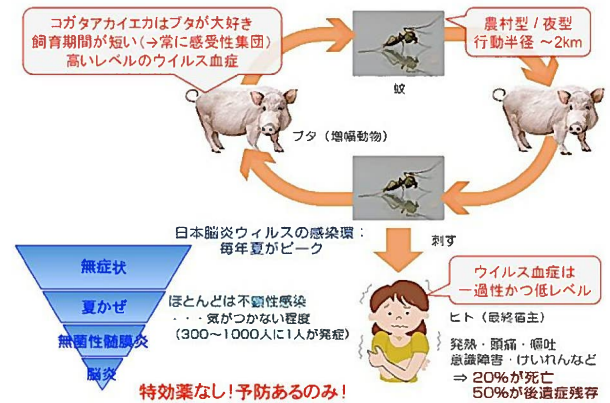
第二次世界大戦で勝利したアメリカの兵隊たちが日本に上陸する時に一番恐れたのは、日本人ではなく日本脳炎だったという話があるほどです。日本脳炎という名前がついているので日本特有の病気のように聞こえますが、これは日本で初めてウイルスが分離されたためにこの名前がついたのであって、アジアの各地にも同じようなウイルスがいて同じような脳炎を起こします。(昔は発見された所の地名で病名が付けられたという事で、日本という言葉が付いています。かなり最近まで発見地で名前が付くという事がありました。誤解を招くという事で、3年前のウイルスでは地名を使わないという事で、αとかβとかのギリシャ文字を使ったりしています。)

日本脳炎ウイルスは豚の中で増えます。蚊がその豚を刺して血液を吸い込むと、蚊の体内でもウイルスが増え、次に人間がその蚊に刺されて人間にも日本脳炎ウイルスが入り込みます。そして人間の体内で増殖して恐ろしい日本脳炎を引き起こします。昔は冷房もなかったので、夏バテで体の抵抗力が落ちたお年寄りや子どもが蚊にさされて日本脳炎になっていました。しかし最近、めったにこの病気にお目にかからなくなりました。現在では、どの都道府県でも日本脳炎ウイルスがどこにどの程度発生しているのかをモニターしています。そのモニターは養豚場で行われ、そこの豚の血液の中に日本脳炎ウイルスに対する抗体があるかどうかを調べます。(京都でも云々というのは畑中さんが京都地

域で活動していました。) 京都でも養豚場で毎年モニターされていますが、養豚場の豚にも日本脳炎ウイルスにかかっているものが非常に少なくなっていることがわかってきました。

日本脳炎のウイルスは蚊を媒介にして人間に入り込みますが、人から人へうつることはありません。(この辺が大事な事で、今のコロナウイルスは人から人へ感染しますが、日本脳炎にはそれが無い。) ウイルスにとっての宿主としては、そこがデッドエンドなのです。豚や蚊が日本脳炎ウイルスの巣窟になっているので、その両方でウイルスが増殖しない環境になると、このウイルスもどんどん減っていくということになります。そのため、今では豚にワクチンを接種することにより日本脳炎を予防するという方法がとられていて、モニターの結果日本脳炎ウイルスが見つかったら即座に豚に対しての方策が取られています。います。蚊が媒介になるようなウイルスを私たちはアボウイルスと呼んでいます。アボとは「節足動物」の意味で、このウイルスの典型的なのが日本脳炎ウイルスなのです。

日本脳炎という名前が付いているけれども、日本特有の病気ではないという話と、人から人へうつらないという事を知っていれば、安心感があるのかなど。ただし、感染すると死亡率が高い。人間が感染すると20%くらいの死亡率で、半数くらいの人には後遺症が残るので、感染すると怖いという事です。



【幹事報告】

山田 利明



1. 地区事務所より月信
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま  
以上がきています。

## 出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
7	0	3	0	42.9%

# 増強についての座談会

